

Bグループ

飴山弓乃 (苗代小)

藤田美和 (安宅小)

馬場智美 (串 小)

久田実樹 (能美小)

吉田桂子 (東陵小)

川場貴香 (荒屋小)

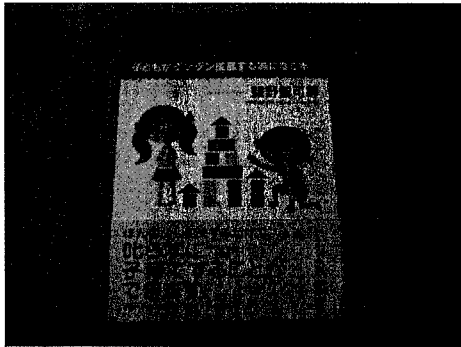
油片明子 (蓮代寺小)

高橋明美 (西尾小)

しつけで大事なこと

《はじめに》

坂本教育長の講演の中で親が子どもの失敗を我慢して見届け、自分で克服させるというお話が心に響きました。私達は叱ることでしつけをしているつもりになっていた事に気が付きました。



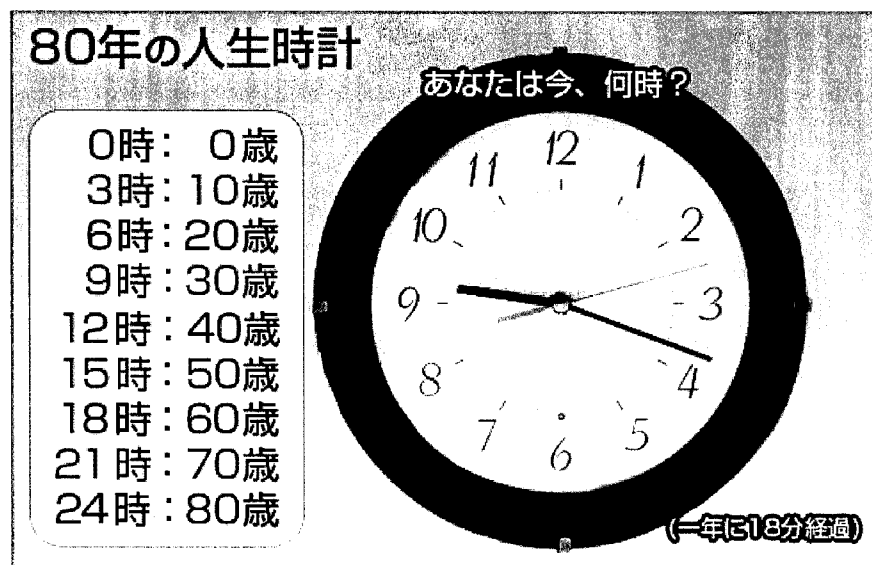
そこで、『叱らないしつけ』という本を参考に「しつけで大事なこと」をテーマに選びました。

参考文献：『叱らないしつけ』

著者名：親野智可等

出版社名：PHP 研究所

《人生を時計に例えると》



この人生時計は人の年齢を一日の時刻に置き換えてみるものです。平均寿命を80歳とすると80歳が24時ということになります。

この時計で見ると子ども達の人生は、まだ夜明け前の熟睡状態なのです。どうかすると目の前の現象ばかりに気持ちが集中し、長い人生のほんの一瞬でしかない事を忘れがちです。

その為に焦りの気持ちも加わって、

厳しく叱ってしまうのではないのでしょうか???

「続けること」、「一貫性」、「身をもって示す」です。

取り決める続ける為に、親子でチェックするチェックシートを作ってみました。参考にしてみてください。

生活調査表

時刻

就寝

朝の支度 学校

学校

下校

夕飯の準備 宿題 自習

お風呂 夕食 夕食

夕食・セブ

練習

就寝

時刻	7/1 (月)	7/2 (火)	7/3 (水)	7/4 (木)	7/5 (金)	7/6 (土)	7/7 (日)
朝食	○	○	○	○	○	○	○
自習	○	○	○	○	○	○	○
ピアノの練習	○	○	○	○	○	○	○
お風呂いじりつ	○	○	○	○	○	○	○
夕食の準備10分	○	○	○	○	○	○	○
夕食	○	○	○	○	○	○	○
就寝	○	○	○	○	○	○	○

玄関掃除を続けよう

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
ぬら漏んでできたか	☆	☉	☆	☆	☆	☆	☉	☆	☆	☆
ほうきでゴミを振り除けたか	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
ぞうきんで丁寧にふいたか	☆	☆	☉	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
下駄箱に目立ったよごれはないか	☉	☆	☆	☉	☉	☉	☆	☆	☆	☉
玄関マットのほうりがとれたか	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
掃除の検片付けができたか	☉	☆	☉	☆	☆	☆	☆	☆	☉	☆

yrs3

おかあさんから一言

② 「一貫性」

例えばAさんの家のルールは「宿題をしてから遊びに行くこと」です。

ある日、Aさんは宿題をせずに遊びに行っていました。帰ってきた時、お母さんがすごい剣幕で怒りました。その後しばらくは、しっかり宿題をしてから遊びに行っていました。

またある日、宿題をせずに遊びに行っていました。帰ってきた時、お母さんがニコニコしながら言いました。「先に宿題をしなきゃダメでしょ」

同じことをしたのに怒られたり、ニコニコされたり…。一貫性のない態度では、子どもは戸惑います。

どうですか？皆さんはAさんのお母さんの様な対応をしたことがありませんか？



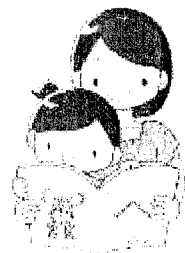
③ 「身をもって示す」

これは一言でいうと、「子は親の鏡」ということではないでしょうか？

あるメンバーの家では、高校生と小学生の子どもが同時に反抗期に突入!!!毎日、お互いのとげとげしい会話や態度で接するようになっていきました。次第に食事の時も会話をしないようになりました。

ついに疲れ果ててしまい「どうでもいいや」と気持ちを切り替えて接していたら、自然と自分にも笑顔が戻って、会話もするようになりました。

親が穏やかに過ごしていれば、子どもも穏やかに過ごせるのではないのでしょうか？



《まとめ》

- ① 子どもが失敗した時に感情的になり、声を荒立てて咎めることでしつめたつもりになっていることが多い。
- ② しつけにおける厳しさのポイント
「続けること」「一貫性」「身をもって示す」
- ③ 子どもたちは人生時計のまだ夜明け前です!!!焦らずのんびり子育てを楽しみましょう!!!

《感想》

- 改めて親子、夫婦間で考えるよいきっかけになりました。
- 叱らずおおらかに子どもと接することができる親を目指します!!!
- 子どもに何かを求める前に、親の私達を見直すことが大事だと思いました。
- 当り前のことを続けるだけなのに、こんなにも難しいことなんだなあ実感することができました。しつけとはまず親が当たり前に出来る姿を示すことなのではないかなあと思いました。
- 親が子の鏡であることを痛感させられました。
- 子どもに問題を克服させるためには、手助けをしてばかりではその子の成長が望めないんだということ。親はそっと見守るというしつけも必要なことなのだと思いました。
- 私は今まで「叱ることでしつめたつもり」になっていました。口で怒鳴るばかりでなく、態度で示すこともしつけなのだと分かりました。

